



薬学部
同窓会長
桂 正俊

薬学部

薬学部同窓会は全国17支部(道内7、道外10)で活動を行っています。近年は会員数の増加に伴い、道内支部の細分化の動きが出ています。また、道外では逆に卒業生が減少していることから、本州支部の統合やブロック化も含めて考えていかなければなりません。各支部活動としては、多くの支部では、医療薬学セミナーと同時に支部総会や懇親会を開催し、その地域での薬業や医療に関する情報交換を行っているところです。最近では歯学部や他学部の同窓会とも連携したセミナーの開催が行われている支部もあり、学部の枠を越えた活動が始まっています。同窓会の活動はこのように会員同士の交流を深めながら、それぞれの仕事やモチベーションを高めることをひとつの目標としていますので、全国の同窓生が一様に参画できるよう支部役員の協力を得な

〈創立年:1979年 会員数:約5,097名〉

がら活性化を図ってまいりたいと考えています。また、在学生も同窓会準会員として入学的に入学時に行われる新入生オリエンテーションにも同窓会として参加し、卒業生の講演や新入生の交流が深まるようゲーム大会等を開催しています。さらに、卒業生の生涯教育として、医療薬学セミナーや将来ビジョン講座など卒業研修を企画するとともに「卒業生・在学生合同懇談会」を開催しており、我々同窓会としても、入学時から学生に対しての支援活動を通して、大学に寄与できるよう努力してまいりたいと考えています。

■ <http://www.hoku-iryu-u.ac.jp/~phalumni/>



歯学部
同窓会長
荒輪 隆宏

歯学部

平素は歯学部同窓会活動に際し、深いご理解と多大なるご協力、誠にありがとうございます。お陰様で歯学部は本年度、36期生の後輩たちを世に送り出し、42期生(準会員)を新たに迎えることができました。これもひとえに関係各位の皆様のおかげによるものと心から感謝しお礼申し上げます。会員の福祉と親睦、学部発展に寄与することを目的に「昭和」の時代に設立された本会も「平成」を駆け抜け、新たな時代「令和」を迎えることができました。この間、世の中の価値観は時代とともに大きく変わりましたが、歯科医療の現場でもそれは同じで患者さんやそこで働く人の考え方や望みも変化しました。

〈創立年:1984年 会員数:約3,236名〉

30周年の際、多くの会員の皆様から頂いた浄財を元に設立された歯学部未来基金を使っての学生の海外研修の渡航費用の一部援助や入学間もない1年生の夏期補習の実施など、可愛い後輩たちの進み道の足を少しでも照らすことができたかと思っております。

また、未来の歯科界を担う人材を輩出する大学は人口減少に加えて歯科医師国家試験の難化により、選ぶ立場から財源に選ばれる立場に変わりました。そんな激しい状況の中、我が歯学部も選ばれる学部になるため、学内外皆で試行錯誤しながら一生懸命頑張っているところです。本会はこの高いハードルを乗り越えるため、学内の皆様と協議しながら色々なお手伝いをして参りました。その一部を紹介すると学部の発展に関しては準会員である生の応援活動として新入生オリエンテーションの協力、OBによる応援講義、OBによる学外実習の受け入れ、国家試験の応援、謝恩会の応援、同窓会賞の授与、加えて本会設立

また、福祉の部分では残念ながら毎年のように発生する災害で不幸にも被害に遭った会員の先生へ、仲間から募った義援金をお渡しし、少しでも何かの足しにして貰うこと、また、親睦に関しては全国各地で開催される歯科臨床セミナーの開催や学術講演会後に開かれる懇親会やクラス会です。最近では親子二代で参加される会員もおられる光景を見て、歴史が積み重ねられてきたことを実感しています。いづれにせよ今後さらに続く人口減少時代ですが、歯学部同窓会に留まらず全学の同窓会が一致団結して母校を支えていかなければならないと考えています。これからもどうぞよろしくお願いたします。

■ <http://www.hoku-iryu-u.ac.jp/~d-alumni/>
 ■ dousoukai-honbu@clock.ocn.ne.jp
 ■ 事務局 札幌市北区北6条西6丁目2-11 第3千崎ビル4F
 TEL 011-299-9069 FAX 011-299-9609



看護学部
同窓会長
川村 武昭

看護福祉学部／看護学科・札幌医療福祉専門学校／看護学科

〈創立年:1997年 会員数:約2,000名〉

福祉会(看護学科同窓会)は1997年に創立し、今年で活動24年目となりました。日頃からご尽力をいただいています同窓生の皆様をはじめ、各同窓会の皆様、そして大学関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

みの軽減につながることを強く願うところです。また、この取り組みがゆくゆくは母校の益々の発展に寄与されることを期待しています。

さて、福祉会の主な活動内容としては、臨床福祉学科同窓会(福祉・介護同窓会)と協働での看護福祉学部同窓会セミナーの開催と看護福祉学部学会の企画及び運営を主軸に、歯学部をはじめとした4学部と歯学部附属歯科衛生士専門学校とともに同窓会コラボ☆講演会を開催しています。また、これらの活動状況や各地で活躍する同窓生の近況報告等を会報誌(Fukueikai)やホームページを通して発信するとともに、同窓生同士の繋がりを守つていくことを目的に会員名簿の管理を行っています。また、これら同窓会活動の検討のため、現在15名の同窓生で構成される同窓会理事会を年3回程度開催しています。

今後、福祉会としては、大学及び他学部の同窓会との連携を図りつつ、卒業生及び在学生との繋がり構築をめざして活動して参りたいと考えています。社会人となってからは職場との繋がりが増えていきますが、行き詰まりを感じたときに頭に浮かぶのは本学でともに試験を乗り越えてきた仲間のことではないかと思えます。私たち福祉会では、同窓会セミナーや各種講演会の開催、クラス会の開催助成等を通して、同窓生が気軽に集まれるきっかけづくりを行っていきたくと考えております。同窓生が集い、安心して語り合える機会が増えることにより、看護職として、また、本学の同窓生としての繋がりを再認識し、本学の同窓生としての交流が増えることが会の発展につながるかと考えています。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

■ <http://www.hoku-iryu-u.ac.jp/~kango/>
 ■ kango@hoku-iryu-u.ac.jp



臨床福祉学部
同窓会長
小畑 友希

看護福祉学部／臨床福祉学科・札幌医療福祉専門学校／介護福祉学科

〈創立年:2000年 会員数:約2,052名〉

臨床福祉同窓会は今年で設立から20年の節目を迎えます。これまで多くの関係者の皆様にお世話になったことをあらためて感謝申し上げます。同窓会活動としては、一昨年の北海道胆振東部地震をはじめ災害はいつどこで起きてもおかしくない時代となったこともあり、昨年5月の同窓会セミナーは災害をテーマにしました。災害では高齢者や障害者は2倍の死亡率と言われていて、防災減災を心がけ、私たち福祉で対象となる人の力に少しでもなればと思います。一方、福祉や介護の仕事をめざす人が少なくなっている現実もあります。そんな中で、10月には大学の先生や学生さんとともに同窓会も協力したかたちで、「病院で働く相談のおしごと体験講座」が、中高生を対象に北海道医療大学病院で開催されました。医療ソーシャルワーカーって何?ってことを知ってもらうこと

福祉の人材をつかっていくことにつながります。このような企画運営は今後も大切にしていきたいと思います。また、他学部との連携事業であるコラボ☆講演会にも継続して関わることができました。

歴史があり道内で最も規模の大きい医療系総合大学である北海道医療大学に、臨床福祉学科が位置づけられていて、その卒業生の一員であることに誇りを持って志高く、今後歩んでいければと思います。どうぞご指導ご鞭撻のほどよろしくお願申し上げます。

■ <https://www.hoku-iryu-u.ac.jp/~fukudo/>
 ■ fukudo@hoku-iryu-u.ac.jp



臨床心理学科
同窓会長
上河邊 力

心理科学部／臨床心理学科

〈創立年:2006年 会員数:約620名〉

平素より同窓会活動への格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。昨年度同様、本年度も2回の同窓会セミナーを開催し、多くの在学生や卒業生の皆様方にご参加いただきました。昨今はお子さんとその保護者に対する支援のニーズが非常に高まっています。しかし、それを支援する資源が不足しており、公認心理師をはじめとする専門職の活躍が求められています。そこで、当同窓会としても子どもと保護者の支援に焦点を当てたセミナーを積極的に開催しています。本年度は、1回目のセミナーでは「アナログゲームをお子さんの療育に活かす方法」をテーマとし、2回目のセミナーでは「虐待を予防するために必要な知識」をテーマとしました。来年度は、「心理学を活かしたお子さんの褒め方、励まし方」をテーマとした研修が企画されています。これらのセミナーを通して、社会のニーズに応え、社会から必要とされる心の専門家を育てていくことに力を注いでいきたいと思います。

ています。

また、本年度は心理職初級の国家資格である公認心理師の有資格者が誕生した年でした。臨床心理学科の多くの卒業生も一昨年に国家試験を受験し、晴れて公認心理師として活躍しています。国家資格保持者としての心理職に対する社会の期待も高まっています。当同窓会では、そうした期待やニーズを敏感に察知することに努め、会員の皆様方に同窓会活動を通してフィードバックできる体制を整えていきます。これからも当同窓会は、時代や環境の変化に合わせた同窓会運営を行って参る所存ですので、変わらぬご支援を賜りますよう謹んでお願申し上げます。

■ <http://www.hoku-iryu-u.ac.jp/~p.dousou/> ■ shinri-dousoukai@hotmail.co.jp



理学療法学科
同窓会長
武田 智洋

リハビリテーション科学部／理学療法学科

〈創立年:2017年 会員数:約200名〉

理学療法学科が開設されてから7年、今年は第4期生が社会人デビューを果たします。それと同時に当同窓会も4年目を迎えます。発足時から変わらずご指導いただいている泉唯史学部長、顧問の高橋尚明教授、また、あいの里ST会の先生方には企画・運営など多大なご支援ご協力をいただいています。あらためて御礼申し上げます。

こでも相談してみてください。同窓会としても全面的にサポートできるような環境や場を作りたいと思います。また、卒業教育の一環として、当学科教授を招いての同窓生向けセミナーを今年も企画しています。知識・経験が豊富な先生による講演、学生時代お世話になっていた先生にだからこそできる相談や質問など、一専門家として成長できるきっかけとなればと思っています。今後後援会の皆様をはじめ、各同窓会の先生にご指導いただきながら、本学の発展、同窓生の更なる活躍の一助となるべく活動をして参りたいと思います。

■ <http://iryoudaibt.web.fc2.com/> ■ iryoudaibt@gmail.com



作業療法学科
同窓会長

田丸 仁啓

リハビリテーション科学部／作業療法学科

〈創立年:2017年 会員数:約110名〉

設立から3年が経過し、少しずつ同窓会活動にも慣れてきたところであり。例年あいの里ST会の石黒会長をはじめ各先生方には多大なるご支援ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。今年度は第3期卒業生の入会、総会の開催、毎月の理学療法学科同窓会・あいの里ST会との合同役員会の出席を主に活動して参りました。また、2度の会報発行を通じて会員へのセミナー開催報告等を行いました。

現在、約110名で活動していますが、新入会員は毎年30～40名とまだまだ少ない会員数の期間が続きます。少人数という特徴を活かして密に連携を取りながら、当会が同窓生、在学教員、在学生の繋がる場としてあり続け、発展していくことを願っています。

今年度の集大成として3月21日(土)に札幌サテライトキャンパスにて、以前本学で講

師をされていた北海道大学の澤村大輔先生を講師にお招きし、第2回作業療法学科同窓会セミナーを開催します。社会人、臨床家として学生時代とは違う、成長した視点でご参加くださることを願っています。また、来年度においても積極的にセミナーを開催し、同窓生の皆様へ還元できるような役員一同努力して参りたいと考えています。

最後に北海道医療大学後援会の皆様、各同窓会役員の皆様のご理解、ご協力の下に、当会の運営が成り立っていますことに深く御礼申し上げます。

■ hokuriyodai.ot@gmail.com



言語聴覚療法学科
同窓会長

石黒 恵美子

心理科学部／言語聴覚療法学科・ 札幌医療福祉専門学校／言語聴覚療法学科・言語聴覚療法専攻学科

〈創立年:1994年 会員数:約1,200名〉

当会は札幌医療福祉専門学校の言語聴覚療法学科の第1期卒業生により設立されました。講演会の企画・運営と年に2回の会報発行を通して現役生・卒業生の皆様への情報提供を中心に活動しています。今年度は、6月29日(土)に総会と言語聴覚療法学科同窓会セミナーを開催しました。高倉祐樹先生を講師にお招きし「日常臨床で実践できる!研究法の基礎-失語症の事例を中心に-」をテーマに、貴重なお話をうかがいました。

現在は3月14日(土)第13弾コラボ☆講演会、6月の同窓会セミナー(専門職向

け)の開催に向け準備を進めています。ぜひ多くの皆様にご参加いただきたいと存じます。最後に、この場をお借りし北海道医療大学後援会の皆様・内外の先生方のご理解・ご協力を賜り、滞りなく当会の運営を行えていますことに、深く御礼申し上げます。

今後とも同窓会活動を通じて皆様のお役に立てるよう、役員一同努力して参ります。

■ st-kai@hoku-iryu-u.ac.jp

北海道医療大学同窓会支部等連絡先

■薬学部

支部名	支部長(期)	連絡先
札幌支部	多田 正人(4)	☎011-812-2311
道北支部	沼野 達行(10)	☎0166-32-8181
十勝支部	石原 敦(3)	☎0155-28-3344
道南支部	吉田 元(12)	☎0138-27-7727
釧根支部	羽田野 貴志(11)	☎0154-32-1337
オホーツク支部	新井 俊(10)	☎0157-31-3310
日胆支部	山田 達生(2)	☎0142-76-5258
青森支部	三上 章(1)	☎017-729-0330
栃木支部	橋本 秀雄(3)	☎0285-54-5080
茨城支部	西野 郁郎(1)	☎0293-42-0239
北越支部	本間 信哉(3)	☎0254-26-7676
神奈川県支部	川田 哲(3)	☎045-742-2301
東海支部	高尾 信彦(2)	☎053-451-0821
関西支部	山口 和俊(9)	☎0721-28-6261
中四国支部	勝原 聡(3)	☎082-291-2104
九州支部	山田 昌人(3)	☎0965-52-5750
沖縄支部	村田 成夫(4)	☎098-956-1093

■歯学部

支部名	支部長(期)	連絡先
北海道支部連合会	佐藤 明理(4)	医療法人社団明雄会そのま歯科 ☎011-387-8811
青森県支部	佐藤 孝治(2)	佐藤歯科医院 ☎0172-36-0412
秋田県支部	石川 承平(14)	いしかわ歯科・矯正歯科 018-887-3988
岩手県支部	高野 玄(18)	高野歯科クリニック ☎0197-23-2488
宮城県支部	郷家 道彦(10)	郷家第二歯科医院 ☎022-223-3306
山形県支部	芳賀 俊和(5)	芳賀歯科医院 ☎0238-84-8107
福島県支部	外島 昭夫(7)	ホワイト歯科医院 ☎024-875-3232
茨城県支部	秦 博文(2)	社会医療法人愛宣会ひたち医療センター歯科 ☎0294-37-0713
栃木県支部	松井 章(2)	松井歯科医院 ☎028-656-4618
群馬県支部	篠崎 広治(1)	しのざき歯科医院 ☎0276-48-0118
埼玉県支部	青木 聡(7)	あおき歯科医院 ☎049-256-2220
千葉県支部	寺山 功(4)	葉山歯科医院 ☎0471-64-6480
東京都支部	蛸名 勝之(5)	エビナ歯科医院 ☎03-3200-4818

■看護福祉学部

☎0133-23-1211

- 看護学科(内線:3641)担当:明野(実践基礎看護学講座)
- 臨床福祉学科(内線:3708)担当:池森(介護福祉学講座)

支部名	支部長(期)	連絡先
神奈川県支部	阿部 智彦(2)	阿部歯科医院 ☎045-953-7676
山梨県支部	安田 伸一(13)	やすだデンタルクリニック ☎055-243-8461
長野県支部	小池 文一(2)	小池歯科医院 ☎026-224-1482
新潟県支部	山下 克弥(9)	わかば歯科医院 ☎0258-83-1010
富山県支部	藤川 晃(5)	藤川歯科医院 ☎0764-83-2231
石川県支部	久保 伸一郎(2)	栗津歯科医院 ☎0761-44-4852
愛知県支部	木村 英雄(1)	こめの歯科医院 ☎052-451-1182
京都府支部	堀内 光一(10) ※支部長代理	堀内歯科医院 ☎0774-21-4016
大阪府支部	西 一幸(1)	西齒科医院 ☎06-6793-7500
広島県支部	神原 滋(6)	明王台クリニック ☎084-952-2281
四国支部	谷本 良司(3)	医療法人谷本歯科医院 ☎0883-42-2069
九州支部	清川 宗克(3)	清川歯科・口腔外科クリニック ☎092-822-8805
沖縄県支部	玉城 均(1)	ながた歯科医院 ☎098-854-1182

■心理科学部・リハビリテーション科学部

☎0133-23-1211

(学務部 心理科学課・リハビリテーション科学課)

- 臨床心理学科 ○作業療法学科
- 理学療法学科 ○言語聴覚療法学科



歯学部附属歯科衛生士専門学校
同窓会長

梶 美奈子

歯学部附属歯科衛生士専門学校

〈創立年:1991年 正会員数:約1,236名、準会員:31名〉

本会の目的は、1.本校で学んだ高い理念と教養を保つ。2.自主協調の精神に基づき広く社会に貢献する。3.本校の発展に寄与し、併せて学術研究の向上に努める。と会則に記載されています。1991年の発足以降、前述の目的に沿って、あるいは、目的自体を目標にして運営を行ってまいりました。会員数が1,200名を超え、たくさんの卒業生が臨床、教育、公的機関などあらゆる場面で活躍しています。たくさんの同窓生と学会や講習会で会話し、皆様が高い意識を持って日々患者さんやクライアントに接していることがわかります。また、国内外の学会等で表彰を受けている同窓生の噂もちらほらと耳にします。同じ歯科衛生士として、そして、同窓生として大変嬉しく思います。同窓生の皆様は、本校で学んだという基盤を利点に各部門で活躍されているのだと実感しています。そんな同窓生たちに恥じぬように、同窓会はしっかりと歩みを進め、既卒者のみならず在校生についても学校と協力して支援を継続しなければならないと考えています。

同窓会の行事はさまざまですが、年に2回講演会を行っています。一つは、同窓会独自で行うセミナーで毎年役員が講師の選択に頭を悩ませています。歯科に限らず、コミュニケーションに関する事、メンタルトレーニングに関する事を講演いただくなど趣向を凝らし、在校生や一般の方まで多くの方にご参加いただいています。もう一つは、他の学部と一緒に連携してコラボ講演会を行い、口腔から全身の健康、食べる事などについて学びます。同窓会のあり方として、会員のみならず在校生もサポートしていかなくてはなりません。会自体が学校と連携し、ともに成長して行くことで会員、在校生にとって意味のある会となるように努力してまいります。

■ http://www.hoku-iryu-u.ac.jp/~kataturi/
■ okahashi@hoku-iryu-u.ac.jp

歯学部附属歯科衛生士専門学校同窓会支部連絡先

北海道医療大学歯学部附属歯科衛生士専門学校 ☎0133-23-1211(内線:3482)担当:大山・岡橋

卒業生を対象とした各セミナー・
公開講座に関するお問い合わせ先

学術交流推進部
地域連携課

☎0133-23-1129(直通) E-mail:nice@hoku-iryu-u.ac.jp